

平成²⁷年₆月 京都府議会定例会提出議案知事説明要旨

(27.6.18)

本日、ここに6月定例府議会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、御多忙の中お集まりいただき、まことにありがとうございます。

それでは、今回提案させていただいております議案につきまして、御説明申し上げます。

まず、第1号議案平成27年度一般会計補正予算についてであります。今年度の当初予算におきましては、「緊急防災対策」「緊急経済対策」「未来への創生」への重点投資と、新「明日の京都」の着実な推進に向けた過去最大規模の14か月予算を編成し、現在、その執行に全力を挙げて取り組んでいるところであります。

こうした中で、当初予算編成後の情勢等の変化を踏まえ緊急に対策が必要なものの、また、当初予算の計上は見送ったものの、その後に事業着手の環境が整ったものに絞って補正予算案を編成したところであります。

まず、緊急対策についてであります。府内の雇用情勢を見ますと、有効求人倍率が13ヶ月連続で1倍を超え、今春の新卒大学生の就職率が93.9%と雇用状況が改善されてきた一方で、中小企業の人手不足が逆に深刻化しつつあり、また、若者の高い早期離職率や非正規雇用率の改善には至っていない状況が見受けられます。このため、若者の正規雇用と府内中小企業への就職を促進する

ため、就労を見据えた企業実習等の緊急支援策を講じてまいります。また、電気料金の値上げや今夏の節電対策として、診療所や社会福祉施設等の省エネ化を支援してまいります。

次に、事業着手の環境が整ったものでありますが、京都舞鶴港と韓国やロシアを結ぶ国際フェリー航路の開設に向けた調整を進めてきたところ、新規就航の準備として、既存航路の京都舞鶴港寄港の暫定就航の見通しが立ちましたので、今後の本航路の開設も見据えた、京都舞鶴港への安定的な集荷対策を講じてまいります。また、府立医科大学に寄附により整備を進める予定の最先端がん治療研究施設（仮称）の着工に向けた準備工事や、府南部地域の児童生徒の急増に対応するための新設特別支援学校の整備に向けた造成設計を進めるとともに、専用球技場につきましては、環境保全専門家会議や公共事業評価に係る第三者委員会において、環境に配慮しながら進めるという条件の下で御了解をいただきましたので、その整備に向けた実施設計費を計上するなど、総額4億4,300万円となる補正予算をお願いしているところであります。

補正予算以外の議案についてであります。再生可能エネルギーの供給量の増大等を図り、地球温暖化対策の推進と地域社会及び地域経済の健全な発展を目指すための京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例や、若者の就職等に関し、府や事業者等の責務を明らかにするとともに、若者の就職の支援等に関して必要な事項を定める京都府若者の就職等の支援に関する条例の制定なども合わせ、全18件の議案につきまして審議をお願いしております。

御議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。